

神道の友

『神のお働き』

管長 菊池重敏



人間には、生まれながらに決まってしまうている、どうにも変えられない宿命と、努力によって変えられる運命とがあります。どうしても変えられない宿命はいくら神様にお願しても叶えられないのです。例えば、女に生まれた以上いくら願っても男に生まれ

変わる事は出来ません。いくら嫌な親であっても、生んでくれた親を変える事は出来ません。又、生んだ子供を変える事も出来ません。この様に、生まれながらに決まってしまうている宿命が、時には病気であったり、寿命であったりする事も有ります。宿命は自然の大法則として受け入れるより仕方が無いのです。全てが神様のお計らいなのです。私は神様のお働きには、三つのしくみがあり、世の事全てを導き治め下さっているのではないかと思えます。一つは、宇宙の真理としての絶対的な変える事の出来

ないお働きです。二つ目は、人間の事を思つて良き方へと護り導いて下さる、神の愛情としてのお働きです。三つ目は、神の子として生まれた人間自身の中に授けられた、計り知れない能力や機能としてのお働きです。この三つのしくみの神様のお働きによって、我々は生かされていると思えます。人間の脳は十五パーセントから良く使う人でも二十パーセントしか働かせていないそうです。するとそれ以上の脳の働きを開発したならば、どれほどの計り知れない未知の能力が秘められているか分かります。動物や鳥は自分の死が近くと自分自身の体を葬るのです。ですから、山を歩い

正月号
編集・発行
〒106-0031
東京都港区西麻布
4丁目9番2号
宗教法人「神道大教」本局
神道の友編集部
TEL 03-3407-0524
題字 管長 菊池重敏 書

ていても、町中(まちなか)でも動物や鳥の死骸を見かける事が有りません。見るとしたら車に引かれた死骸ぐらいです。これは動物や鳥には死期が分かる能力が授かっているからこそ、自分の亡きがらを葬るが如く、安らかな眠りにつくために隠れた所にて死を迎えるのであるうと思えます。昔の偉い人は自分の死期が近づいている事が分かったそうです。我々も修練によって、死期を感じる事が出来る様になるかも知れません。又、人によっては予知能力、透視能力、霊との交信等、一般的には考えられない能力を発揮する人がいます。人間の能力には、神の子としての限りなく秘めた働きが内蔵しているのです。

どんな逆境や苦難であっても真剣に考え、真剣に取り組んだならば、必ず乗り切れる能力が授かっているのです。神様のお力を外に求めるのではなく、自分自身に内蔵する神のお働きを信じ、努力、工夫して自分自身の能力を十分に活用するのです。そしてどうしても自分に出来ない事は、人間の良き方へと護り導いて下さる、神様の愛情におすがりして、お任せするのです。真理を犯さない願い事であるならば、神様はお働き下さいます。でも、どうしてもお願い事が叶わなかった時、叶わなかった事が、神様の御心・思し召しとして受け取れる様に成る事が、真に信仰の道に生きる事だと思えます。

明治 天皇 御製
あめつちとともに久しくかはらぬは
神代ながらのをしへなりけり
たらちねの親の教をまもる子は
まなびの道もまどはざるらむ

令和四年秋季大祭を斎行

大祭前日午前十一時、祭員及び東京婦人会有志が弥栄殿広間に集合。管長、総監の挨拶の後、それぞれが担当を手分けし大祭の準備に取り掛かりました。

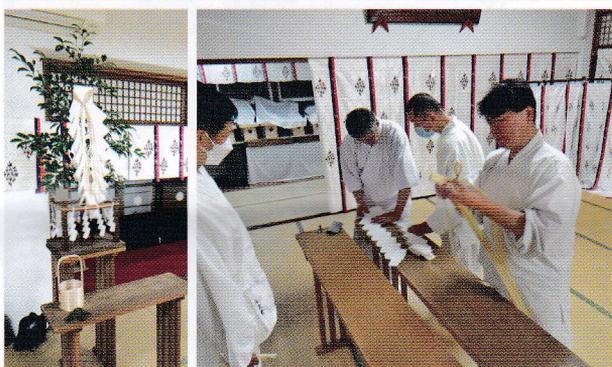
手慣れた作業にて手際よく準備が進められ、神殿内の壁代や門帳の取り付け、各所に張られた注連縄や紙垂の取り替え、大麻・神籬・御幣・玉串の製作、奉納幟の飾付、祓所の準備等、内外の装いが整い、愈々神饌の盛付けで有ります。伝供で供物が落ちない様に、表裏から見ても美しい様に、真剣に盛付けを行います。

祭具を整え午後四時より儀式の習礼を行い、前日の予定を無事終了しました。

大祭当日十月二十一日(金)は清々しきそよ風の吹く秋晴れに恵まれ爽やかな朝を迎えました。

午前九時、第一鼓の合図と共に霊殿祭奉仕の祭員が着

装に取り掛かります。手水を行い、祭員が整列。第二鼓が打たれ、典儀の号令にて伶人を先導に斎主・祭員祓所へ参進し修祓。第三鼓の合図と共に参拝者の待つ御霊殿へ参進。長元禮典長の開式の辞に始まり、斎主一拝、献饌の儀、幣帛供進の儀、斎主祭詞奏上。



前日の準備作業をする祭員



霊殿祭 祭員一同



慰霊の舞を奉奏する橋村美樹師・増井花音さん

参拝者・奉納者芳名録

(敬称略)

幣帛料奉納者

【北海道】札幌八幡宮菊池重敏 菊池重忠 千葉佳彦 函館敬神大教会工藤隆三

工藤賀子 工藤超千 工藤一美 日天講社石川澄子

石川恵美 石川太喜 中村セツ 石川慈人 三浦ユリ

高穂神社澤口廣 梅津一夫 地主昇 中林鉄夫 中林絹

子 原田貴史 村木牧子

【青森県】石神社小野光廣 小野節子 節田志ノ武

佐々木ヒデ 郡川洋子 横濱栄子 小笠原達雄 黒田

一三三

【宮城県】あかつき仙台分教会堀川秀夫 桂田安子

桂田啓生 桂田雅子 桂田悟

【山形県】三山宮宮田博正 宮田楽 出雲太神社菊地元

宏 清光院小教会湯上弘通 多田悦子 山川信利 岩倉

金剛院小教会八幡悟生

【栃木県】出雲大神像観中 教会佐藤正美 柴山清

御嶽永野中教会永澤忠彦 永澤正義 歳徳神社板倉進 板倉百合子 板倉聖子 板倉信之助 高藤神社坪山欣也 坪山仁美 坪山雅則

【茨城県】大熊満

【埼玉県】天神大教会富田

信太郎 木曾御嶽川越大教会山崎真理 伊藤み代 黒

田恵理 雅楽天神会 深田神社深田佳聖 和田直樹

建沼道夫 木下博子 佐藤幸雄 西山昌男 渡辺かず

子 國井高子 岸和子

【千葉県】大和八幡神社橋村美樹 橋村敬子 天明道

心小教会宮崎日出男 宮崎初枝 宮崎利幸 宮崎貞幸

菅野一男 田代玲子 安藤敏子 市島昭子 稲葉静子

宇田川三恵 古宮茂雄 塩野悦代 田代恵美子 辻村

豊春 花香千春 東千鶴子 宮地由美子 山元真一 石

田敏明 佐藤秀之 高橋清 近信薫 二宮義雄 三浦知

子 山元達好 渡辺亨 穴澤光宏 國井明 石川昌幸

鈴木裕基子 溝口孝恵 沖



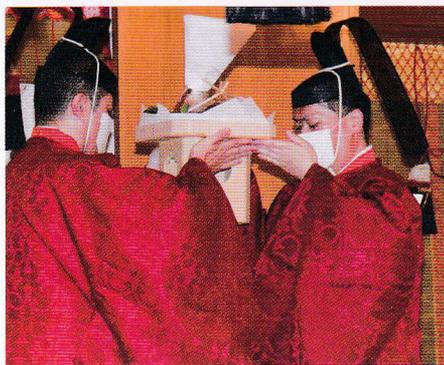
祓所へ参進する齋主・祭員

次に御霊をお慰めすべく慰霊の舞が穏やかに美しく奉奏され、東京婦人会有志の先生方による神教歌を祭員・参拝者が声高らかに朗々と奉唱されました。次に齋主玉串奉奠、祥月命日を迎えられる御家族並びに参列者が玉串を奉り拝礼、撒饌の儀、齋主一拝と、祭儀は肅々と荘厳に進められ、御霊殿に御奉齋の御慰霊の祭りが滞りなく齋行されました。昼食を挟み、午後一時からは本殿祭が齋行されました。先ず祓所にて修祓が行われ、黒袍・赤袍・緑袍・齋服・



修祓の儀

桂と色も鮮やかに華麗に身を包んだ齋主・祭員が参進し、御本殿に着座致しました。長元禮典長の開式の辞に始まり、齋主一拝、開扉の儀、献饌の儀と祭儀は進み、平安朝の絵巻さながら雅やかに伝供の儀が厳かに行われ、一糸乱れる事なく、御神前へ神饌が供えられました。次に奉幣の儀が行われ、振幣の儀では一層雅びを加えられました。続いて一同の幣帛料が供進せられ、齋主が秋季大祭祀詞を奏上し大神様への報恩感謝と、作物



献饌の儀

- 田毅 沖田基次 櫻井嘉津子 齊藤均 金井正 横山照美 橘俊郎 石平久代 小林克久 代田明義 杉浦裕之 杉浦誠一 木沢明彦 坂井はるひ 今村滋 白川貴朗 板垣仁一朗 前川征男 前川和範 白井光一 藤城信雄 石川進 高橋邦夫
- 【東京都】 榛名孝善坊講社 小泉輝人 石大神宮・飯井宮再興祭祀天興大教会小林宗朝 小林昌代 小林晴比古 白鬚神社品川一夫 品川順子 栄珠稲荷神社永井栄子 森田瑞穂 良和神社 宮内康 天聖神社磯崎寿三雄 井上象英 福谷比砂 日向敦子 葵拡夢 齋京則子 弓場祥子 松永大介 四本木稲荷を守る会 有馬利夫 馬場いさ 濱名弘子 市橋町子 南筭町会 木原桂子 恵キャピタル(株)嶋崎繁
- 【神奈川県】 八坂青山御祈禱所井上直幸 井上壽子 井上八城 八坂宣教所成井

- 勇吉 成井朝江 成井康雄 高草木恒雄 坂本八千代 不二中教会柗澤覚 山本興一 松野昭男 池田美恵子 瀨瀬司 永田雅俊 島田好子 吉田雅弘
- 【山梨県】 吉田仁六
- 【長野県】 三井雅之 寺嶋日登美
- 【岐阜県】 眞中神社 眞中教師会 若森正仁 若森秀子 若森真澄 林日奈子 北川めぐみ 宮原和歌栄 梶原千代栄 岐阜県教師会 導徳中教会古市文江 古市享 小川晴人 若森千鶴
- 【静岡県】 荒浪仁一郎
- 【愛知県】 八幡天宮深谷章男 遠藤貴子 神道伊勢 月日布教所大念寺剛 加藤瀧治
- 【滋賀県】 滋賀米原小教会 吉田善實 平野喜久代 梅村忠生 山田綾乃 細川源太郎 高橋良一 堂坂とく 八軒ますみ 藤木はるみ 岡野洋子 山田清美 デイズヘア



管長 本殿祭祀詞奏上

の恵みをお与え戴いた御礼と共に更なる守護を祈念しました。

続いて国家の繁栄と世の安寧を祈り、浦安の舞が橋村美樹先生・増井花音氏により優雅に美しく奉奏されました。次に参列者を代表して感謝の詞を天神大教会富田信太郎先生が奉読され、感謝の誠を捧げられました。次に堤龍一郎先生先導にて、大祓詞・四大信條を祭員・参列者が心一つに力強く奉唱されました。

次に斎主玉串奉奠に合わせ祭員座後列拝し、引き続き参列者が順次玉串を捧げ、日常の大神様の庇護に感謝



浦安の舞奉奏

し永代の御守護を祈念致しました。

続いて撤饌の儀、斎主一拝管長より三條の教憲が奉読せられ一同が応答。国家斉唱・教歌を奉唱の後、祭員の紹介がされ、斎主・祭員が退下されました。再び管長がおでましになられ、御参列の御礼と御講話をされました。

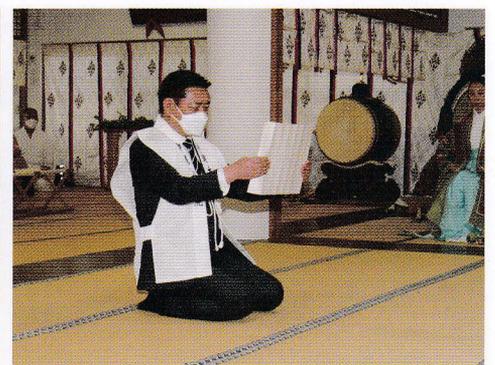
コロナウイルス感染拡大規制緩和後の大祭でもあり、大勢の教師・信徒が御参拝されました。全て終了の後には弥栄殿にて和気あいあいと夕刻まで直会が続ぎ、徐々にではありますがコロナ禍前の賑わいを感じられる秋季大祭となりました。



斎主玉串奉奠・祭員座後列拝

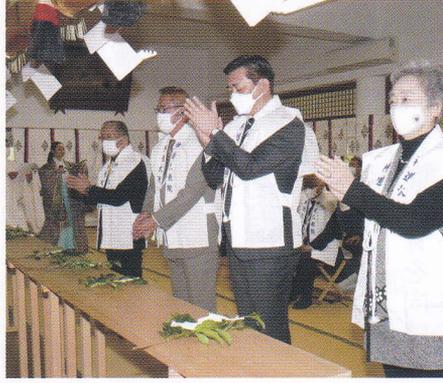


大祓詞・四大信條奉唱



感謝の詞 天神大教会富田信太郎先生

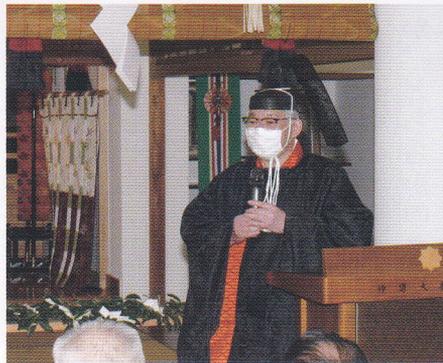
- 【京都府】大憲天祖神社堤 龍一郎
- 【兵庫県】幡州白山神社小 畑教子
- 【岡山県】大山祇神社浦田 隆司
- 【奈良県】うづめ大教会木 村剛正 国親小教会早川政 弘 大神茅原小教会坂口光 三郎 岡本忠宣
- 【高知県】高知中院吉良 祝人 吉良羊子 吉良典世
- 【福岡県】扇森稻荷神社長 元祥泰 後藤勇 松崎潤也 石山晴子 寺田勢鶴子 永 瀬幸子
- 【大分県】尺間嶽中院天 野衆王 今村文夫 三浦恒 良
- 【宮崎県】高天原神社金丸 夕カ子 金丸和充 加藤和 代 藤本陽子 伊藤隆 伊 藤章 小林誠 坂和也 小 林渡 稀玉悠太 小林伸吉 坂イサ 伊藤春代
- 【鹿児島県】黒田茂實 高 田宮子
- 【北海道】函館敬神大教会 工藤隆三 日天講社石川澄 子 地主昇 原田貴史 村 木牧子
- 【青森県】石神神社小野光 廣 黒田一二三
- 【山形県】清光院小教会湯 上弘通 岩倉金剛院小教会 八幡悟生
- 【茨城県】大熊武男
- 【埼玉県】深田神社深田佳 聖 岸和子
- 【千葉県】天明道心小教会 宮崎日出男 齊藤均
- 【東京都】森田瑞穂 赤木 瑞彰 松田敏美
- 【岐阜県】眞中神社若森正 道 林日奈子 梶原敏雄
- 導徳中教会古市文江 古市 享
- 【京都府】大憲天祖神社堤 龍一郎
- 【兵庫県】幡州白山神社小 畑教子
- 【岡山県】大山祇神社浦田 隆司
- 【福岡県】扇森稻荷神社長 元祥泰 寺田勢鶴子



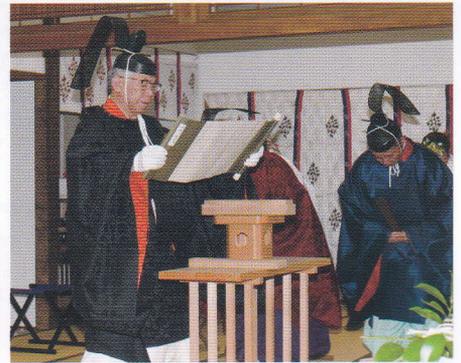
参 列 者 の 玉 串 奉 奠



直会の一時



菊池管長の挨拶



三條の教憲を奉読する管長



本殿祭 祭員一同



御 奉 納 品

【宮崎県】高天原神社金丸
タカ子 藤本陽子
【鹿児島県】黒田茂實

祭典奉仕者(敬称略)

斎主・菊池重敏管長
典儀・長元祥泰禮典長
祭員・堤龍一郎、大熊満、
菊池重忠、湯上弘通、八幡
悟生、宮内康、林日奈子、
宮田染
浦安の舞・橋村美樹、増井
花音
神教歌・森田瑞穂、永井栄
子、若森真澄
伶人・雅楽天神会

この度の秋季大祭斎行に際し、連日準備と奉仕に携われた祭員並びに教師の方々、並びに東京婦人会、青年会各位の多大なる御支援を賜り、更に全国の教場長・教師の皆様よりの御神饌や玉串料を御奉納戴き、盛大に秋季大祭が斎行出来ました事、厚く御礼申し上げます。

九星気学入門

五黄土星

【基本的性格】

『帝王の星』といわれる五黄土星。この星の生まれは、森羅万象・万物の支配も破壊も思うがままのパワーを持つて生まれた人です。それをフルに活用して、一国を動かすほどの大人物となるか、あまりの力に位負けて、世間に背を向けてひねくれ者になるかは、自身の心がけと教養次第といえるでしょう。

また、誠実で情愛深く、大きな度量と細心さをあわせ持ち、頼まれ事は嫌とはいえない生まれながらのリーダータイプ。目標達成のためには、どんな苦労があっても、強い信念ではね返す

意志の人です。

反面、一步横道に外れると、強情・高慢・理屈屋の偏屈者になってしまいかねません。生来のエネルギーをうまく使うことが、人生の重要課題です。

【仕事の特徴】

自立心の強い五黄土星生まれは、人の上に立ち、旺盛な活動力と大胆な積極性を生かせる先達的な職業が向いているでしょう。どんな環境や分野でも、持ち前の精神力と強い責任感で、人一倍の働きをします。とくに、目標を定めたとき

の集中力はすばらしく、リーダーシップを発揮し、計画の実現や達成に向かって突き進んでいきます。そのため、自分の考えを押し通そうとする面もあります。強

引な態度を控えて、周囲の人との調和を大切にすれば、仕事もスムーズに進み、運氣も上昇します。

五黄土星の人の適職は、教師、政治家、弁護士、評論家、公務員、金融業、医師、プログラマー、技術者、トリマー。どちらかというサラリーマンよりフリーランスの方が実力を発揮できます。学術研究などには向いていません。

【恋愛の特徴】

プライドが高く、遊び上手と呼ばれるか無骨になるのか、どちらかのタイプに分かれます。

一度燃え上がるととことん惚れぬく情熱家でもあり、ロマンチスト。愛情深く褒め上手の人が多く、つねに大恋愛の暗示です。

好きになった相手には、あの手この手の作戦でアプローチし、恋愛から結婚まで短期間で一気に進むのも五黄

土星生まれの特徴といえるでしょう。

ただ、あまりの愛情過多に相手がついて来られないことも。自分のペースで、一方的に愛情を押しつけて、かえって嫌われる結果になりかねません。強すぎる独占欲も考えものです。

反面、相手にその気がないと分かったり、恋人との関係が終わったと感じたときには、意外に引き際はあっさりしていて、すぐに次の新しい恋にチャレンジしていきます。

『知っておきたい幸せになれる九星気学入門』
株式会社 神宮館 発行



著者 歴作家
大教正 井上象英



神道大教
菊池管長の言の葉集

『一ミリ前進』

日めくりカレンダー

(六十二日分のお話掲載)

菊池管長の愛情、優しさ、思いやりの一杯詰まった日めくりカレンダー

◎本局で御注文戴けます。

一冊 初穂料 一、五〇〇円
(送料別)

新年のお慶び

申し上げます

令和五年癸卯元旦

神道大教本局

管長

菊池重敏

総監

長元祥泰

責任役員一同

大会議議員一同

神道大教院

総代一同

うづめ大教会

教会長 木村剛正

副教会長 木村孝子

〒六三〇一八三三七
奈良市中筋町二四一

TEL0744-1312419
FAX0744-1931734



神道大教札幌八幡宮

宮司 菊池重敏

〒〇六一二二六八
北海道北広島市輪厚中央五三二一六
TEL011-377-3388
FAX011-377-4198
ホームページ
<https://sapporotachinangyu.com>

真中神社

宮司 若森正仁

名譽 宮司 若森正道

〒五〇二一〇八五七
岐阜市正木三六七一
TEL0581-3391318
FAX0581-3391319

扇森稻荷神社 宮司

長元祥泰

家内安全・商売繁昌・厄除・八方除・交通安全・病氣平癒・結婚式
初宮詣・七五三・子宝成就・安産・子孫繁栄・学業成就・合格祈願
地鎮祭・竣工祭・上棟祭・安全祈願祭・神葬祭・各種祈禱祭
〒822-0034 福岡県直方市山部 448-1
電話・FAX 0949-22-4972

新年の御慶び申し上げます

神道大教

岡本忠宣

〒六三二一〇〇〇三
奈良市中登美ヶ丘
一一一九八一七五
TEL0742-2402562

神道大教 出雲太神社

宮司 菊地元宏

禰宜 菊地康倫

〒九九〇一〇五二四
山形県寒河江市高松二八〇
TEL0237-871028

栄珠稻荷神社

宮司 森田和子

〒一五四一〇〇〇五
世田谷区三宿一十四一二十三
TEL03-34141557

謹賀新年

大教正

井上象英

(神道大教 大会議議員)

新年のお慶び

申し上げます

石大神宮・飯井宮
再興祭祀天興大教会

教会長 小林宗朝

〒一四一〇〇三三
北区滝野川五三二一六
TEL03-39161376

函館敬神大教会

教会長 工藤隆三

〒〇四〇〇〇七四
函館市松川町二十二一十六
TEL013-8141273

神道大教 滋賀米原小教会

水心宮 吉田善實

〒五二一〇〇二二
滋賀県米原市米原七〇四
連絡先
TEL061-6910865
自然舎内

天神大教会

教会長 富田信太郎

〒三五六一〇〇二八
ふじみ野市西原一一一十八
TEL049-2611831

三山宮

宮司 宮田博正

〒九九七〇二一一
TEL0235-621268
山形県鶴岡市羽黒町手向二二五

新年のお慶び

申し上げます

令和五年癸卯元旦

高知中教院

院長 吉良祝人
 副院長 吉良典世
 顧問 吉良羊子

〒七八〇〇〇四三
 高知市寿町三一六
 TEL〇八八八二四二二五五
 FAX〇八八八二四二七八六七

新年のお慶び
 申し上げます

大会議議員

直属 松野昭男
 直属 新海研次

〒一三三七一〇〇七二
 神奈川県横須賀市長浦町二一六六

神道大教

大山祇神社

宮司 浦田隆司

〒七一九一二二二
 岡山県高梁市川面町一九五八
 TEL〇八六六一二六〇〇五六

新年のお慶び申し上げます

香取神社
 駒形神社

宮司 齊藤均

(大会議議員)

〒二七二〇〇〇一
 千葉県松戸市幸田一八三
 TEL〇四七二二四一一三九四

日笠山八雲大教会

教会長 網干裕仁

〒六七六〇〇八二
 兵庫県高砂市菅根町一七一八
 TEL〇七九四四八二二三三

高天原神社

宮司 金丸夕カ子

〒八八〇〇八七七
 宮崎市宮脇町八四
 TEL〇九八五二七二二五七二
 FAX〇九八五二八二二〇二二

尺間嶽中教院

天野衆王

〒八七六〇一〇二
 大分県佐伯市弥生尺間九四六一
 TEL〇九七二一四六一四二二

清光院小教会

教会長

湯上弘通

〒九九九一三二六三
 山形県上山市軽井沢一一一三六

大憲天祖神社

宮司

堤龍一郎

〒六一六一八八四
 京都市右京区太秦中筋町二一十
 TEL〇七五八六四二六二二

深田神社

宮司 深田佳聖

〒三四九一〇一四一
 埼玉県蓮田市西新宿一九九八
 TEL〇四八七六九一五五五三

榛名神社社家

榛名孝善坊

代表役員 柿添政可

責任役員 小泉輝人

〒三七〇一三三四一
 群馬県高崎市榛名山町一〇二
 〒一七五〇〇九二一
 東京都板橋区赤塚一一一七七

普明神社
 苗場明道会

松井苗子

松井興太郎

神道大教

あかつき仙台分教会

代表役員

堀川秀夫

鎌田光彦

新年のお慶び

申し上げます

令和五年癸卯元旦

神道大教

山神宮

宮司 勝亦健一

金刀比羅神社

宮司

杉本富子

〒五〇一三九一四
岐阜県関市辨物師屋一三三十三
TEL〇五七五一一三三四八五
FAX〇五七五一一三三四六三

神道大教

たたら
鞆鞆神社

宮司 小林正昭

〒二七三〇一三三
千葉県鎌ケ谷市道野辺中央
一一二一十一
TEL〇四七(四四三)〇〇六六
FAX〇四七(四四四)九四〇三

新年のお慶び
申し上げます。

大念寺 剛

神道伊勢月日布教所

新年のお慶び

申し上げます

神道大教

直属 寺田勢鶴子

〒八〇三〇八一六
福岡県北九州市小倉北区
金田二丁目一一一
TEL〇九三一五八三一六一八三

謹賀新年

直属 飯田容子

〒四五三〇〇二一
愛知県名古屋市中村区
松原町一四三一一

新年のお慶び

申し上げます

直属 三浦恒良

〒八七〇〇九三六
大分県大分市岩田町一七二二
TEL〇九〇一八六八七八三二

株式会社 美術会館
ギャラリー「青 羅(賞画廊)

代表取締役社長

池田美恵子

東京都中央区銀座三〇一〇一九
美術家会館
TEL〇三三三五四二一三四八一代

【名刺広告募集について】

本教の機関誌「神道の友」も皆様の御協力を戴き、発行部数二五〇〇部となりました。名刺広告の御協賛も徐々に増えつつ有ります。

名刺広告は、普段行き来のない教場・教師の方々に対しまして、年賀や暑中の挨拶として御活用戴いております。

多くの教場・教師の方々に名刺広告の御参加を戴けます様、お願い申し上げます。

広告料は例年通り、

A 枠 三千元 (縦四、五cm×横四cm)

B 枠 五千元 (縦四、五cm×横六、五cm)

の二通り (特別枠の方は別途料金を設定) となっております。

○お申込みは本局まで御連絡下さい。

有栖川宮・高松宮展墓

高松宮妃癌研究基金参与の佐藤進様の御協力を戴き、第八代品田管長以来、毎年秋季大祭齋行の御報告として、有栖川宮・高松宮展墓を行っております。



展墓されました方、上段左から出雲大社教東京分祠長千家活彦様、神理教管長夫人、下段左から高松宮妃癌研究基金参与 佐藤進様、扶桑教教嗣 宍野綾子様、神習教管長 芳村正徳様、菊池管長、神理教管長 巫部祐彦様

長・教主様と共に参拝をさせて戴いております。当日は、豊島岡墓所の参集所に一同集合。有栖川宮幟仁親王御墓所並びに高松宮宣仁親王・同妃殿下御墓所に献花・供物をさせて戴きました。参拝者が一人ずつ墓前に御拝礼させて戴き、感謝の誠を捧げました。佐藤進様には、毎年格別の御配慮を戴き感謝申し上げます。

四本木稻荷神社秋季大祭

東京都北区滝野川三丁目六十一番地に鎮座する、神道大教「四本木稻荷神社」の秋季大祭が令和四年十月十三日に齋行されました。四本木稻荷神社は、後継者が途絶え、雑草が生い茂り荒れ果てた境内地となっていました。ボランティアをされていた地域の方々と、管長や本局局員との交流が生まれ、地域の方々に依って「四本木稻荷神社を守る会」が結成されました。

今では、十数人の輪に広まり、木の伐採や壊れた箇所修理、清掃等幅広い活動をして下さり、見違える程に手入れされた境内地に生まれ変わりました。当日は、午前十一時、菊池管長齋主、長元禮典長典儀他祭員二名により厳粛な祭

典を執り行いました。近隣の本局教師小泉輝人先生が祭典のお手伝いをして下さり、地域の方々とも親交を深め、地域と密着した教化活動に御助力戴いております。

祭典には十人程の御参拝を戴き、終了後にはお供物の撤下や記念品を頒ち合い、和やかな雰囲気の中、盛大な秋季大祭を終了しました。地域の皆様、御協力誠に有難うございました。



祭員着座



管長挨拶



大祓詞奉唱



修祓の儀

管長の動向（対外行事・事務局）

- 十月 二十二日 責任役員会
- 十一月 一日 月首祭
- 九 日 神道大教天聖神社昇神祭齋行（管長・大熊部長・菊池主事奉仕）
- 十 日 教派神道連合会理事会（國學院大學 管長・大熊部長出席）
御嶽教管長就任祝賀会（東郷会館 管長・総監出席）
大教院雅楽寮開催
- 十三日 四本木稻荷神社月次祭齋行（管長・大熊部長奉仕）
- 十四日 管長教場訪問 岐阜中教院・導徳中教会（管長・大熊部長訪問）
- 十五日 中旬祭
- 二十一日 月次祭
- 二十四日 東京都教派神道連合会理事会・懇親会
（出雲大社教東京分祠 管長・大熊部長出席）
- 十二月 一日 月首祭
- 十三日 四本木稻荷神社月次祭齋行（総監・菊池主事奉仕）
教派神道連合会理事会（管長・大熊部長出席）
- 十五日 中旬祭
- 十八日 高松宮紀久子妃殿下御命日祭（豊島岡墓所 管長・大熊部長参列）
大教院雅楽寮開催
- 二十一日 月次祭・年越大祓齋行
- 二十八日 本局大掃除
- 三十一日 除夜祭齋行

教内異動

【教師補命】

- 補 権訓導
直属
千葉・木沢明彦
（令和四年九月二十八日付）
- 補 権訓導
直属
千葉・小林克久
（令和四年九月二十八日付）
- 補 権訓導
直属
千葉・杉浦誠一
（令和四年九月二十八日付）
- 補 権訓導
直属
千葉・横山照美
（令和四年九月二十八日付）
- 補 権訓導
直属
千葉・代田明義
（令和四年九月二十八日付）

【辞職者】

- 東京 直属
訓導・大谷喜代治
（令和四年十月二十一日付）
- 埼玉 直属
少講義・手嶋重忠
（令和四年十二月五日付）

【帰幽報告】

次の先生の帰幽の報に接し
生前の御奉仕、御活躍を称
え、謹んで哀悼の意を表し
ます。

- 令和四年十一月十二日
帰幽
島根・八雲大宮支教会
（長）
権少教正 須佐建紀師

（敬称略）

※令和四年十二月十五日現在

菊池管長の教場訪問

神道大教 岐阜中教院

岐阜市西川手一丁目九五に鎮座する「神道大教岐阜中教院」に菊池管長と大熊部長が教場訪問をしました。

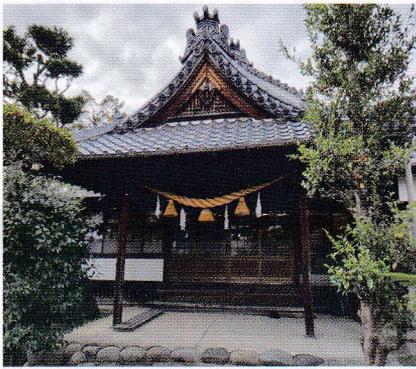
岐阜中教院と言えば、明治十五年に自由党党主の板垣退助が暴漢に襲われ『板垣死すとも自由は死せず』の由来となった場所です。神道中教院にて、板垣退助が演説を終え、玄關の階段を下りた時、短刀を振りかざした暴漢に左胸を刺され、命に別状は有りませんでし



岐阜中教院の境内入口

たが、襲撃を受けた際に叫んだ言葉と言われています。院主奥田紀明先生のお話しに依ると、当時の中教院は現在の中教院の場所では無く、岐阜公園の中に有ったそうです。

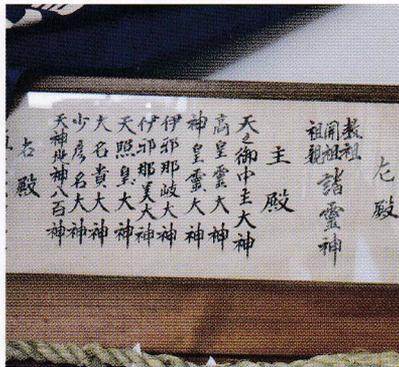
岐阜中教院の初代は、奥田覺十郎（かくじゅうろう）氏。土岐氏の苗裔（びょうい）で、御嶽大神を尊崇し、安政二年に講社の先達を務め、明治七年七月には神道大教院神道本局の教師となり、皇典を説き教義を宣布されました。その後は覺十郎氏の御子息・御子孫



岐阜中教院の神殿

が二代から六代まで跡を継がれましたが、皆早逝で現教主の父上奥田敬（けい）氏も五十三歳で御逝去され、現在の奥田紀明先生が院主七代目を継がれています。

岐阜中教院の御祭神は神坐中央に神道大教院の御祭神を始め大名貴（おこなむち）大神、少彦名（すくなひこな）大神で、左殿に教祖・開祖・祖親の諸霊神、右殿



御祭神名板

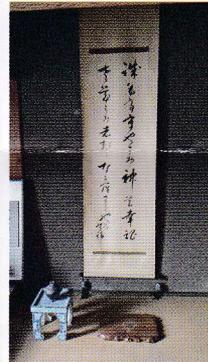


岐阜中教院の神前

に皇祖皇宗の諸霊が祀られています。

歴代院主は、出雲大社教の組織者千家尊福（せんげたかとみ）公と親交が有り、『先神事』や『和歌』の毛筆が残されています。

現院主は、神道大教大会議議員を長く務められていました。現在は神社本庁系の神社を二十数社兼務され、地域のボランティア活動等、



千家尊福公の和歌



左から奥田神職、管長、奥田院主

地域との交流にも務められ、お忙しく御活躍されています。

神道大教所属の中教院は他に「高知中教院」「尺間嶽中教院」が有り、中教院が本教に所属している事が、明治八年に創設された神道事務局直轄の道統を継承して来たことの証であります。奥田紀明先生には、中教院更に神道大教発展の為に益々の御活躍を期待致します。